

さがみはら都市農業振興ビジョン2025（案） に対する意見と市の考え方

募集期間 平成27年12月16日（水）から平成28年1月22日（金）まで

意見提出者数 3人

意見件数 6件

担当課 農政課 042-769-9233

No.	意見の内容	市の考え方
1	<p>販路があるとしているが、その開拓を誰が担うのか明記していない。市は本気でやろうとしているのか感じられない。販路開拓と言えば、テレビ等で反映している“道の駅”のシステムが定着しつつあるが、相模原は何もしていない。</p> <p>農協に対して、直売所の整備補助金6000万円を出しただけだ。その直売所は生産者や購入者にとって、使い勝手が悪い最悪な施設である。売り場面積は少なく、売り切れを見越して、市場から地場でないものを仕入れて売っている始末である。</p> <p>もっと、生産者の立場を考えた他施設整備やシステムを構築するべきではないか？</p> <p>そのために、購入者も限定され、広がりを見せることができない。</p> <p>あなたならどう考える、今の直売所でいいのか？</p> <p>ビジョンを考えうる前に現実を直面して、施策を展開してほしい。</p>	<p>販路開拓についてでございますが、本ビジョンでは、「直売所等の活用による販路拡大の支援」を掲げており、市政モニターアンケート調査においても、市内農産物を購入する場所として、直売所での購入が上位に位置するなど、市民からも期待されているところです。</p> <p>市では、市内農協の直売所に対して、建設費補助や農業者の直売所への出荷に対する奨励金の交付などの支援を行っております。</p> <p>また、販路先としましては、その他にも、農業者が直接経営する直売所、学校給食、民間商業施設や飲食店等、様々な機会が考えられるため、農業者、農業関係団体及び民間事業者並びに行政が密接に連携しながら、販路開拓を進めてまいります。</p>
2	<p>5・6の（4）</p> <p>人口減社会における心豊かな生活環境を身近に守り、増成する必要を痛感。</p> <p>特に、先人営為の成果が耕作放棄・放置休や空屋となり、慙愧に堪えない。</p> <p>高齢者、児童、リハビリ対象者の他健常成人を対象とした様々な（従来施策を越えた）プログラムを開発・試行・推進して欲しい。</p>	<p>本ビジョンでは、農とのふれあいの推進について、市民が様々な目的で農業にふれあうことができ、これを通じてコミュニティや農業の理解を深めることになると定めております。</p> <p>また、農業と福祉の連携等による障害者の自立支援を掲げている他、多面的機能の活用を図ってまいります。</p>

<p>3</p>	<p>1(2)及び(3)について</p> <p>昨今の異常気象に依り、農業被害は拡大の一方と 思います。従って、多少の規模の農家個人では対応 が難しいと考えられます。その為に多少のリスクに も耐えられる資金の余裕も大切だと考えます。官民 共同で大規模法人の参入の検討されるのはいかがか と思います。それに依って、中小農業者の法人雇用 もと考えます。</p> <p>3(1)(2)及び4(2)</p> <p>この件は、上記のとおり提案しました大型農業法 人で共に考えられたらと思います。</p>	<p>農業被害の対応については、農業者自らが任意 で農業共済制度へ加入する等リスクに備えてお り、一昨年2月の大雪において全半壊するなどの 甚大な被害を受けた農業施設に対しては、国・県 及び市により再建に向けた補助を実施するなどの 支援をしました。農業経営に関する資金の支援に ついては、日本政策金融公庫等による融資につい て、利子補給を実施しております。</p> <p>また、本ビジョンで掲げている多様な農畜産物 の生産振興、農業の6次産業化の促進や農畜産物 のブランド化の促進に取り組む上で、農業への法 人参入を促進することは必要であると考えており ます。</p>
<p>4</p>	<p>2(4)有害鳥獣被害対策について</p> <p>捕獲、撲滅等を考えるだけでなく、共存の方向も 考えてはいかがでしょうか。</p> <p>里山も大事と思いますし、高崎山の猿園も元をた どると、被害対策が原因と伺いました。都市にも近 いので、里山公園も一案かと思えます。</p> <p>5及び6の一部にもあてはまるかとも考えます。</p>	<p>有害鳥獣被害対策については、被害を発生させ ている鳥獣を撲滅する事業ではなく、野生鳥獣に よる農作物被害を軽減し安定的な農業経営が可能 な環境を創り出すものでございます。</p> <p>また、餌付けによる有害鳥獣の管理は県の管理 計画でも位置付けがなく、市としても里山公園に ついての検討はしておりません。</p>
<p>5</p>	<p>2(1)及び5(1)について</p> <p>土地の集約を計り、果樹園等を作る。</p> <p>市民から苗木オーナーを募る。オーナーには時々 作業に参加してもらい、収穫物にて対価を支払う。</p> <p>市内にある高校等にも授業の一環として組み入れ てもらおう。</p> <p>これだけでは穴だらけですが、それに依って、一 般市民も参加してもらえる農業が多少は出来る気が します。大沢南部の営農用地の中でもかなりの高品 質の葡萄を栽培されている人もおられますし、田名 新宿方面では従来から栽培し、販売されている方が 高齢を理由に辞めたいとの話も聞きましたので、そ れなりの品質の作物は可能かと考えます。</p> <p>他にも検討すれば栽培可能な種類もあるかと考え ます。</p>	<p>本ビジョンでは、地域の中心的経営体等への支 援や市民農園・体験型農園の開設の促進を定めて おります。また、ご提案につきましては、今後の 参考とさせていただきます。</p>